

2024年夏季手当

収入動向交渉を行う

本部は、5月31日、収入動向交渉を行いました。以下、報告します。

「営業部より、2024年4月の営業成績を説明」

1, 収入動向 [対計画+46百万円(100.4%)]

・コンテナ

食料工業品が、気温上昇に伴う需要増や長期連休前の送り込み需要のほか、飲料メーカーにおけるモーダルシフトの取組み等により+59百万円となった一方、化学工業品及び化学薬品は、需要低迷に伴う生産減の影響が続き、それぞれ△22百万円、△9百万円となった。

コンテナ全体では、対計画△18百万円(99.8%)となった。

・車扱

石油は、月前半において気温が平年より低い日が続いた影響により灯油等の需要が高まり発送が伸びたほか、気温が上昇した月後半においても、ガソリン等を中心に堅調な荷動きが続き、ほぼ計画通りの水準で推移し、計画を上回った。

車扱全体では、対計画+64百万円(107.2%)となった。

2, 輸送量動向

円安により原材料・燃料価格がさらに高騰し商品値上げが進んだことを受け、個人消費が伸び悩み、荷動き全体には力強さが見られなかった。一方、月中旬以降の気温上昇に伴う飲料の需要増や長期連休前の送り込み需要等により、輸送実績は前年を上回った。

コンテナは、食料工業品が、気温上昇に伴う需要増や長期連休前の送り込み需要等により、清涼飲料水及びビール類を中心に好調な荷動きとなり、前年を上回った。また、紙・パルプは、ペーパーレス化の進展に伴う紙の需要減が続く中で、モーダルシフトの動きが一部見られたことに加え、長期連休前の前倒し出荷により増送となった。一方、エコ関連物資は、一部顧客における処理計画変更により減送となったほか、化学薬品は、需要低迷に伴う生産減に加え、一部顧客における生産活動及び輸送終了により荷動きは低調となった。コンテナ全体では前年比100.0%となった。

車扱は、月上旬における低温傾向の影響や長期連休等における外出機会の増加により、石油がガソリン等を中心に増送となり、車扱全体では前年比106.7%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比101.9%となった。

以上

「営業部」

- 組合・2023年度決算状況を見て、改めて営業部の思いを教えてください。
- 会社・新型コロナウイルス感染症が5類に移行し行動制限も緩和され、消費にも回復の動きが見られたものの、原材料・燃料等の価格高騰、需要低迷に伴う生産活動の停滞等から全体的な荷動きは低調であった。
- 組合・2024問題と言われる2024年度がスタートし、2ヶ月が経過したが、これまでの動向を見て営業部の思いを教えてください。
- 会社・4月のコンテナ収入は対計画99.8%、5月も計画並みで推移しており、スムーズなスタートを切ることが出来たと感じている。
- 組合・今年度に入り計画通り営業収益は上向いているが、2024問題の風を感じているか。
- 会社・2024年問題を受けた引き合いも増えている。年度が進むにつれ、増えていくと見ている。
- 組合・鉄道輸送から他のモードに切り替えたお客様が、再び鉄道輸送に戻ってきている話はあるのか。また、戻るためにどのような営業努力をしているのか。
- 会社・過去にご利用いただいていた顧客へのアプローチも行っており、今後も続けていく。
- 組合・2024年度事業計画では連結決算21億としており、2023年度連結決算(△42億)から60億近く改善見通したが、営業費用を見ると、2017年度決算では営業費用1405億に対して、2024年度事業計画では営業費用1567億となっており、7年間で160億円ほど上がっている。2017年度は経常利益100億以上計上した年度であるが、営業収益を上げても営業費用が増えれば利益は上がらない。物価上昇もあり様々な費用が上がっていると思うが、特に何の費用が大幅に上がっているのか。
- 会社・2017年度と比較し、特に動力費電力が約+50億増加しており、単価の上昇である。
- 組合・良い商品を提供するため、設備投資は積極的に行う必要があるが、無駄な営業費用は抑えなければならない。営業費用を抑えるためどのような取り組みをしているのか。
- 会社・不要不急の設備投資について、竣工時期の変更等を考えている。
- 組合・国の物流革新緊急パッケージについて、進展や国との協議は進んでいるのか
- 会社・国からはモーダルシフト推進の予算を新たに措置してもらっており、こうした予算も活用して輸送量拡大を図りたい。
- 組合・2021年度～2023年度は非常に厳しい結果となったが、2024年度は事業計画以上の結果を出さなければならない。先日、某テレビ番組で「JR貨物はガッチリ稼いでいる」と放送された。最後に営業部の意気込み教えてください。
- 会社・2024年問題に対する引き合いは増えている。引き続き鉄道へのシフトを訴え、輸送量を増やしていく。
- 組合・私達は安全安定輸送に努めていく。収入確保に向け営業部も鋭意努力して頂きたい。
- 会社・コロナが5類になって以降、対面での営業活動が増えているので鋭意努力していく。

「ここからは人事部」

- 組合・趣旨説明で私達の思いを伝えており、私達の主張を理解して頂いていると思うが、現場では「JR貨物ブランドを復活させるため」尽力している。懸命に働いている以上、成果を求めるのが当然であり、これに会社が応えなければ、社員の気持ちは離れていく。次回交渉は「会社の考え」となるが、誠意ある考えを示して頂きたい。
- 会社・本日の内容について、経営陣にも伝え次回の会社の考えまで社内議論を重ねていく。
- 組合・次回交渉「会社の考え」は、6月6日でよいか。
- 会社・会社の考えは6月6日である。
- 組合・何度も言うが、誠意ある考えを強く求めたい。
- 会社・議論を深めていく。

次回交渉(会社の考え)は、6月6日(木)を予定しています。
